

令和 7年 8月 21日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
会長 荒船 丈一 様

施設名 プライムケア川越
氏 名 志村 優太

研 修 会 報 告 書

研修会名	基本介助研修会				
日 時	R7年8月20日(水) 10:00～16:00				
会 場	医学アカデミー				
講 師	畠山篤史氏(介護福祉士) 前園佑貴氏(理学療法士)				
参加人数・定員	参加人数	23 名	募集定員	30 名	
	欠席人数	10 名	応募人数	33 名	
研修リーダー 研修メンバー (施設名)	◎志村優太(プライムケア川越) ○茂田拓(瑞穂の里) ・福島隼人(高齢者ケアセンターのぞみ)・田安彩子(ケアセンター八潮) ・北田敬子(さんとめ)・大河原裕介(FOMA・なごみ)				
研修会のテーマ	現場で使える介護技術 ～生活全般における介護技術～				
研修会の評価	アンケート回収枚数	23 枚		3. グループワーク	### 0
	1. 研修内容と目的の一致	4.4 5		4. 研修会の進め方	4.6 5
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	～総合評価点～	18 20
		②	5 / 5		
		③	/ 5		
④		/ 5			

総
評

(研修会開催後の反省会での内容や研修リーダー・メンバーとしての感想等を記述)

●今回は、前半の部、後半の部で講師を分けた。前半は食事・排泄・入浴・更衣・整容として介護福祉士の講師、後半は移乗・移動・腰痛予防として理学療法士の講師の方に研修をお願いし、より専門的な内容となり、好評だった。

●今回も講義、実技、グループワーク方式で研修をして頂いた。

→昨年度までは介護備品・設備のない会場で研修会を実施していたため、なかなか実技を取り入れた研修内容とはなかった。そのため、今年度より、介護備品・設備の整った会場にしたことで、実技を取り入れた研修内容となり、好評だった。来年度以降も今回の参加者アンケートを基にニーズに沿った内容の研修会の企画をしていきたい。

→グループワークも昨年度と同様にゲームを交えた内容であり、終始和やかな雰囲気で行なわれ、研修会を進めることが出来た。経験年数の短い参加者が多かったが、研修メンバーがそれぞれのグループの補助役として加わったことにより、スムーズにグループワークが行えたと、講師の方より褒めの言葉をいただいた。

●今回は介護職の他に、理学療法士の方にご参加をいただいた。講師の方が、理学療法士の方だと、介護職以外の職種にもニーズがある研修会であることが分かった。また、経年数長の長い介護職の方にもご参加をいただいた。現場で職員育成を行う職員の参加とのこと。

●今年度も、研修会の企画に関して、LINEを使用し進めていった。各現場多忙であるメンバーが多く、施設の所在地もバラバラなため、有効な方法だと改めて感じた。

●今回はコロナが流行している時期のせい、欠席者が10名とこれまでにない欠席人数であった。研修会の特性上、参加者同士が触れ合う機会も多いため、研修会の時期については来年度以降、検討の余地があると感じた。

* アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。